

## 前回会議の振り返り

### ○第5回 環境部会（H30. 11. 19）

- ・計画策定の背景および基本理念の表現を分かりやすくしてほしい。（レジリエント、上質など）
- ・園内の回遊性向上について、生きもの優先のエリアやゾーニングとも関係するため、アクティビティ・マネジメント部会との調整が必要だと思う。
- ・基本理念について、環境部会とアクティビティ・マネジメント部会の方針に沿うよう江津湖のイメージを皆で共有できるような表現がどこかに入るとよいと思う。
- ・基本方針①「豊かな水環境の保全」の施策事業について、行政だけの取り組みではなく、市民レベルの取り組み（生物調査など）も載せてほしい。
- ・施策事業については、課題、目的、対象者、目標を明確にして考えるべき。
- ・外来植物の駆除について、ボランティアの人員確保、処分方法が課題である。
- ・庭園と周辺景観の統一が今後の課題だと思う。
- ・ビジターセンター（仮）として活用できそうな公共施設を教えてほしい。
- ・ビジターセンター（仮）については、その機能や人員配置などをよく検討する必要がある。

### ○第4回 アクティビティ・マネジメント部会（H30. 11. 21）

- ・江津湖の生物（鳥、植物）、歴史について勉強できる場があるといい。
- ・リピーターの確保、ツーリズムの発想が必要。
- ・駐車場の有料化という考えは環境保全の観点からも必要。
- ・回遊性の向上という面で、船で神水あたりまでいくような取り組みもほしい。
- ・バーベキューにはゴミの問題と環境の問題がある。主催者側はゴミ1つ残さない。むしろきれいにしていくといった事例もある。
- ・外来魚対策において、釣り人と協力できる施策が何か考えられないか。
- ・屋形船のカフェ（船上カフェ）は良い。
- ・バーベキューは利用時間やルール設定が必要。
- ・パーク PFI は単に民間ではなく周辺住民・商店街とかと WinWin にならないといけない。
- ・マーケティングによるブランド化という視点はあるが、施策事業が入っていない。
- ・ブランド化していくための価値の整理が必要。

### ○第3回 協議会（H30.11.28）

- 児童公園のトイレを再整備するにあたり、現在狭いところにあるので、移動してつくられる場合は住民の声を取り入れてほしい。
- 児童公園の園路は高木がある関係上、少し暗いので通路を明るくしてほしい。
- ドッグランの整備について、野生生物がその場から消えてしまうのではないかとと思うので、できればやめてほしい。
- マイクロプラスチックの問題をおさえることは大切だと思う。
- 江津湖の水生生物を展示した水族館みたいなものができるか。
- 人材、新企業、担い手のところがどういう形でいくのか、また財源の確保についてが心配な点だが、地域連携で少し工夫をすれば維持管理能力、マネジメントの面で地元の団体は大きく貢献できるのではないかとと思う。
- バーベキューについては、可能な場所と時間帯を指定したとしても、それをきちんと管理することは難しいのではないかとと思う。
- 動植物園の中の環境を上手く活用し、自然環境の勉強の場として使わせていただければ素晴らしいのではないかとと思う。
- サイクリングロードや駐車場の整備は人間の活用ということでは大事な部分かもしれないが、人が利用しやすくなると生きものがそこから消えてしまうと思う。特に水辺は生物の生育にとって大事な場所であるので、人間が我慢できる企画の方がありがたい。
- パワースポットを考えるならば、“水” だと思うので、湧水スポットを物語的につなげていくとよいと思う。